様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	教育施策推進事業	コード	101110

２ 担当部課	部等	教育部	課等	教育総務課	作成者	高橋　卓

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
	政　策	生涯学習の推進	施　策	学校教育の充実
	予算科目	教育施策費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		児童生徒及び教職員の能力、適正に応じた教育を推進する。
目的	対象者	児童・生徒、教職員
	意　図	自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる資質や能力を育成する。

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

【平和体験研修】
　市内の中学校2年生が、広島平和体験研修に参加して、生命の尊さを実感し、21世紀を平和の世紀とするために努力する強い意志と態度を育む契機とした。また、参加者自身が平和体験研修を通して学んだことを自校等において発表、伝達するなど、人権感覚や豊かな情操、命の尊さや平和の大切さを育む「心の教育」を実践した。参加者：市内中学校生徒20名、引率教職員8名。
【教職員研修】
　小中学校職員対象の市教育委員会研修会や校外研修会や研究事業への参加を促し、教職員の資質向上に努めた。
　新任校長教頭研修会、新任学校教職員研修会、中堅教員研修会、岡谷市教職員研修会、授業力アップ研修会など
【6年生交歓音楽会】
　市内の小学校6年生が一堂に会し、音楽を通じて気持ちを寄せ合い互いの演奏を鑑賞することにより、心の交流を図るとともに、小学校生活の思い出作りを行った。

前年度の課題への対応	・行政チャンネル及びローカルテレビにて、平和体験研修会報告会の様子を放映した。 ・いじめ根絶子ども会議への参加や生徒会活動において、平和体験研修で学んだことを発表した。

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	研修実施校			単位	11
実績値	12	12	11		
＊指標の説明	補助金を利用し研修に参加及び研修を実施している校数				
② 成果指標（指標名）	教職員の研修参加人数			単位	人
目標値	1,287	1,498	1,498		1,498
実績値	1,498	1,121	1,101		
達成度	116.4%	74.8%	73.5%		
＊指標の説明	補助金を利用し研修に参加している教職員数				
＊目標値の設定方法の説明	過去最大の研修参加人数				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	2,411,686	2,479,613	2,437,791	2,973,000
経常経費	2,411,686	2,479,613	2,437,791	2,973,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		240,000	240,000	240,000	240,000
正規職員の人数（人）		0.03	0.03	0.03	0.03
③ 合計コスト（①＋②）		2,651,686	2,719,613	2,677,791	3,213,000
前年度比			102.6%	98.5%	120.0%
財源内訳	一般財源	2,651,686	2,719,613	2,677,791	3,213,000
	特定財源	0	0	0	0
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		220,974	226,634	243,436	
前年度比			102.6%	107.4%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
平和体験研修事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	997,000	974,000	974,000	974,000
教職員研修費補助金	件数	12	12	11	11
	金額	996,000	934,000	868,000	934,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,993,000	1,908,000	1,842,000	1,908,000
	割合	82.64%	76.95%	75.56%	64.18%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目				はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。				1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。				1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。				1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	98.2%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	73.5%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） ・平和体験学習で学んだことをできる限り多くの方に伝達する機会の創出や、より多くの生徒たちに平和学習を行う機会をどのように増やすか。	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・市教育委員会のホームページによる広報や生徒会などの生徒を対象とする会議やイベントでの発表の機会をとらえ伝達をする。	
	改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B